

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校給食調理委託					所管	教育委員会	
								学務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 6 2 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし				
	事業対象	区立小学校在籍児童							
	事業目的	区立小学校の学校給食調理業務の合理化を図る。							
	事業内容	・調理業務及び洗浄・清掃業務の民間委託 ・委託料の適正化を図るため、6年毎に委託の見直し(再入札)を実施							
委託の有無	一部委託		委託内容	調理業務及び洗浄・清掃業務					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	委託実施校 (校)			19	19	19	19	
	成果指標	委託業者見直し校 (校)			2	2	4	4	
	決算額 (単位：千円)					351,223	349,154	349,200	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,800	1,666	1,704	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				351,224	349,155	349,201	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				353,024	350,821	350,905	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
	一般財源 (区負担額)				353,024	350,821	350,905		
前年度から改善した事項		引き続き見直し入札等を行い、委託経費が適正となるよう努力した							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	調理業務の合理化が図られている。また、安心で安全な給食の提供のため、行政が関与し、委託の適正性を確保する必要がある。						
	効率性	3	給食の質の低下にならないようコスト、効率性の管理が必要である。						
	手段の適切性	4	経費節減に伴い、献立の多様化(米飯給食回数増、バイキング給食、リザーブ給食等導入)にも対応できている。						
	目的達成度	4	適切に見直しが行われている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
委託経費の適正化を図りながら、今後も給食の質の維持と、安全で安心な給食の提供に努めていく。								維持	